

平成28年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（春季）

刑事政策

- (1) 少年法適用年齢を18歳未満に引き下げた場合の少年司法手続への影響について論じなさい。
- (2) 自由刑純化論について説明したのち、受刑者の法的地位について論じなさい。